

| | | | | | | | |
|--------------------|--|---|----|-----|---------------|--------|----|
| 科目名 Course Name | カラーコーディネート Color Coordination | | | | ナンバリング No. | C3-001 | |
| 年次 | 2年 | 期別 | 前期 | 単位数 | 2 | 授業形態 | 講義 |
| 担当者氏名 | 飯塚 晃代 | | | | | | |
| 連絡先(質問等) | C-ラーニング で対応。または栄養棟 3F 研究室。 | | | | | | |
| 必修/選択 | 選択 | | | | | | |
| 関連 DP | DP2,DP3 | | | | | | |
| 授業の概要と到達目標 | 色彩の基本的理論を学び、ビジネス社会や生活で役立つ配色を考え、活かせるようにする。 ①色彩の基礎、配色調和、色とイメージ、②商品の色、暮らしに役立つ配色 ③美容・ファッション・食事 ④コミュニケーションを作る色、日本の色 ⑤色彩心理 ⑥色彩について、知識とセンスを身につけ、感性を高めることの重要性を説明できるようにする。 | | | | | | |
| 授業の方法 | テキストとカラーサンプルで基本を理解し、資料と色彩運用技術で色彩実務スキルアップ、さらに提案や調査による提出物で、色彩の理解と着実な色彩運用能力を高める。テーマごとにカラー提案や調査など、レポート提出をする。 | | | | | | |
| 学習成果 | L01 | | | | | | |
| | L02 | 色彩の基本的知識、技術を身につけ、アシスタント的業務につき、ある程度の自己判断をしながら、業務を遂行することができる。商品企画・デザインに関する業務であれば、商品色の原案を目的に沿って提示できる程度の色彩技術(スキル)を持つことができる。 | | | | | |
| | L03 | 販売関連業務であれば店頭で、色彩的視点から商品陳列、展示できる技能・技術をもち、接客では、個々のお客様に対し初歩的なカラーコーディネートアドバイスをすることができる。 | | | | | |
| | L04 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 課題提出後の講評。小テストは模範解答を示し、各自にフィードバックする。 | | | | | | |
| 教科書/参考図書 | 教科書:色彩検定 2級編 公式テキスト (文部科学省後援) トーナルカラー65色 参考書:色の辞典(西東社)、色の教科書(Gakken) 授業内でプリント配布 | | | | | | |
| 履修上の留意点やルール等 | ●日頃、色に関心を持ち、積極的に授業参加することを臨む。 ●スケッチブック A4, 色鉛筆準備 事後学習の時間は各回 180 分 | | | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | | | |

| 成績評価の方法と基準 | | | | | |
|------------|---|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域 | 評価基準 | 学習成果の割合 | | | |
| | | L01 | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度 | | | | | |
| レポート/作品 | 与えられた課題を自ら考え、表現され、期限内に提出されている。 | | | 30 | |
| 発表 | | | | | |
| 小テスト | 内容が十分に理解されているか、評価する。 | | 20 | | |
| 試験 | 16週目に実施。色の見え方、色の働き、色彩調和、色彩心理、色彩と生活、効果など、基本的なことが理解されているか、評価する。 S 評価 90-100 | | | 50 | |
| その他 | | | | | |
| 合計 | | | 20 | 80 | |

| 回数 | | 授業計画 |
|----|---------|---|
| 1 | 授業内容 | ガイダンス 色の働き ①生活の中の色彩 ②ファッションと色彩 |
| | 事前・事後学習 | 生活の中の色について、サインとしての色や自然の季節の色の変化に気づくこと。 |
| 2 | 授業内容 | 色の基礎知識 :分類 色相 色相環 色の表し方 色の表示方法 |
| | 事前・事後学習 | 色の見え方、色に影響を与えるもの、色を感じるメカニズム |
| 3 | 授業内容 | 色の明るさ 強度 トーンの種類 |
| | 事前・事後学習 | 明度と彩度が同じような色は同じような印象を与える。 |
| 4 | 授業内容 | 色の見え方、感じ方 |
| | 事前・事後学習 | 色の心理効果、色の視覚効果、見えやすさ、錯覚 |
| 5 | 授業内容 | 単色イメージ、配色イメージ、配色と配色調和 |
| | 事前・事後学習 | 色から受けるイメージ |
| 6 | 授業内容 | 自然な調和、流行色、まとまりのある配色、メリハリのある配色 |
| | 事前・事後学習 | イメージを表現する配色 |
| 7 | 授業内容 | 配色技法 :ファッションと色彩 ①イメージを表現する配色 |
| | 事前・事後学習 | 企画段階の色彩、生産段階の色彩、流通・販売段階の色彩 |
| 8 | 授業内容 | 配色技法 :ファッションと色彩 ②ファッション産業における色彩を取り扱う姿勢 |
| | 事前・事後学習 | 商品陳列と色彩、照明と色、コーディネートと色彩 [小テスト] |
| 9 | 授業内容 | 日本の色＝歴史に残る伝統色 ①かさね色目、陰陽五行と冠位十二階 |
| | 事前・事後学習 | きもの着装の色重ねや和食の配色などで確認する。 |
| 10 | 授業内容 | 日本の色＝歴史に残る伝統色 ②ジャパンプルー、雅・粋・詫・寂・バサラ [レポート] |
| | 事前・事後学習 | 日本人の感性と色は、豊かな自然から、歴史に残るこだわりの色となっている。 |
| 11 | 授業内容 | パーソナルコーディネートと色彩 ①色・素材の質・形との関係 |
| | 事前・事後学習 | 似合う色、好きな色、好印象や気分が良くなることなど。 |
| 12 | 授業内容 | パーソナルコーディネートと色彩 ②色が人に与える影響、カラーセラピー [ドレーピング体験] |
| | 事前・事後学習 | 似合う色、好きな色は、性格の心理状態を表すことも！ |
| 13 | 授業内容 | 商品企画における色彩計画、カラーコンセプト、配色と色の見え方 |
| | 事前・事後学習 | スタイリッシュさ、カジュアルさ、新鮮さ、アピールしたい色、他。 |
| 14 | 授業内容 | 生活環境と色彩 インテリア・エクステリア・プロダクト・メディア |
| | 事前・事後学習 | 興味を引きつけ、楽しさを感じさせる色使い。 |
| 15 | 授業内容 | 販売における色彩計画、VMD と色彩、ディスプレイやファッションへの応用 [レポート] |
| | 事前・事後学習 | 関心のあるテーマについて調査・考察し、レポート提出をする。 |